



No. 24

すみれぐみだより

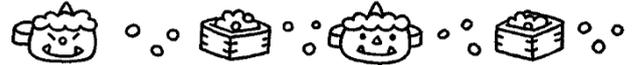
鈴鹿市立玉垣幼稚園
2022.2.8

* * * * *

暦の上では、立春を過ぎましたが、まだまだ寒い日が続いていますね。

* 寒い日が続いていますが、子どもたちが、11月に水栽培を開始したヒヤシンスに、つぼみが見え始めてきました。

* 寒い中でも、植物は、少しずつ訪れている春を感じているのだな…早く花が咲かないかな…花が咲いた時の子どもたちの反応が楽しみです。



生活発表会に向けて…

子どもたちに『生活発表会って、何？小さい組さんの時のこと、覚えている？』と、質問をしました。すると、子どもたちは「劇した！」「ダンスもした！」「楽器もしたよ」「3匹のこぶたと4匹目のこぶたした」「てぶくろの劇をして、うさぎしたよ」。進級児も、箕田幼稚園から来た子どもたちも、去年の発表会のことを覚えていて、色々と教えてくれました。

そして、「今年は…劇と歌と合奏と…鍵盤ハーモニカをしようと思っているの」というと、「何の劇するの？」「鍵盤ハーモニカ…できるかな…？」楽しみいっぱい、不安もちょっと…という様子が伺えました。

「何の劇をしたい？」という話になり…子どもたちからは…

『さるかに合戦』『ねずみの嫁入り』『ブレーメンの音楽隊』『ヘンゼルとグレーテル』『十二支の話』『ノラネコ軍団』『おむすびころりん』などなど、今までに読み聞かせて聞いた話がでてきました。その中で、登場人物や内容を子どもたちと確認する中で、4つの候補が残りました。それは…

『さるかに合戦』『ねずみの嫁入り』『ブレーメンの音楽隊』『十二支の話』の4つでした。そこで、「この4つの劇で、簡単に劇遊びをしてみて、一番やりたい劇をしよう！明日は、ブレーメンの音楽隊とねずみの嫁入りの劇をして、次の日に十二支の話とさるかに合戦の劇をしてみよう！」という話になりました。子どもたちも「やりた～い！」「十二支がいいな～」「ねずみの嫁入りがやりたい♪」等やる気は十分です。



ここで、子どもたちのやる気は、しっかりと受けとめながらも、でも、まずは、子どもたちに大切な話をしました。『劇をしていくにはね…』

「みんなが楽しくないと、見ている人も楽しくない」

「一人一人、みんなが大切」

「一人でも嫌！という子がいるとできない」

「力を合わせる大切」

…という話をしました。

子どもたちは、みんな真剣に話を聞いていました。

それから、ここ数日、子どもたちと劇遊びを繰り返しています。初めは、恥ずかしそうにしている子の姿もありましたが、何度も繰り返して劇遊びをしていくうちに話を覚え、自分で考えて台詞を言う子の姿もでてきています。





←『十二支の話』

神様が動物たちを御殿に呼んでいます。

↓『ブレーメンの音楽隊』

ロバ、イヌ、ネコが、ブレーメンを目指して歩いて行くと、ニワトリが泣いていました。



自分たちの好きな役で4つの候補の劇を楽しみ、実際に劇をやってみた感想などを話し合い『さるかに合戦』と『十二支の話』の2つにしぼられました。

劇遊びが終わると「楽しかった～！」「もう1回したい！！」と言う子の姿も…

今は、この2つの劇を楽しみながら、どちらの劇にしようか考えているところです。この先も、子どもたちと話し合いをしながら、劇を決めていきたいと思います。教師だけで作り上げる劇ではなく、子どもたちと共に作り上げていく劇になるよう、取り組んでいきたいと思います。



楽器、楽しい！

発表会では、合奏も行う予定です。まずは、遊びの時間に、色々な楽器に触れて欲しいと思い、今までから経験しているカスタネット、トライアングル、タンバリン等の楽器を置いておきました。そして、新しく、ウッドブロック、鉄琴、シンバルを置くことにしました。子どもたちは、興味津々！早速、鉄琴を鳴らし始めました。知っている曲を演奏してみる子もいました。

そして、その後、クラス全体で活動する時間には、小太鼓や大太鼓、木琴等も用意し『まずは、楽器に触れてみて、楽器の楽しさを感じてみよう！』という時間を持ちました。子どもたちが知っている曲のCDも流すと…曲に合わせて楽器を演奏する子もいましたよ。

合奏も、まずは『楽器の扱い方を知り、楽器に慣れる』『それぞれの楽器の楽しさ、面白さ、音色を感じる』というところから、子どもたちと楽しみながら、進めていきたいと思います。



周りにいた友だちが自然と集まり、それぞれの楽器を手に曲に合わせて好きなリズムで演奏を始めます。すると、素敵な合奏に♡





「一緒にしよ～」
「きれいな音がするね」



スズを鳴らしていると、楽しくなってきた、行進が始まりました！



♪タン タン
タンタンタン♪
両手でリズムよく
たたいていたね！



大太鼓をたたいて、音を聞かせた時のこと・・・
「神社の音ができる！」
と、言った子がいました。
『神社の音!?あつ、神社で祈禱をする時等に、太鼓の音を聞くこと確かにある！』



子どもの表現って、面白いな…と感じました。

